

# Qow Newsletters Vol.21

2016年4月20日発行  
働くことを考えようプロジェクト  
代表 小山 真由美  
<http://www.qowproject.jp/>  
[karakorochan@gmail.com](mailto:karakorochan@gmail.com)

楽しく働き、豊かに生きる！  
心も、体も健康で、大好きな人に囲まれ、楽しく仕事をして、しっかりとお金も稼ぐ！  
今年度の働くことを考えようプロジェクトのテーマは「自立」です。

## しっかりと自分の足で立つ！

九州地方の震災で被害にあわれた方が、一日でも早く元の生活ができるようになることを心よりお祈りしています。

ご無沙汰しております。

なんと1年ぶりのニュースレターになってしまいました。本当におまかせしてすみません。

働くことを考えようプロジェクトも、5月から4年目に突入します。

そこで、今年度は「自立」をテーマに活動をしていきたいと思っています。

社会人になり働いているからといって、必ずしも自立しているわけではないと思います。自分のことが自分できちんとできるようになり、会社や家族に依存することなく生きていくことができるようになる。そんな人になるためには、どうすればよいのかを一緒に考えて行けたらいいなと思っています。



4月23日大阪でヨガイベント開催

## イベント予定

4月23日(土) 14時~17時  
大阪阿倍野市民学習センター  
「ゼロからはじめてみよう~  
イキイキ働く人のためのヨガ  
~」

5月22日(日) 14時~16時  
東京中央区女性センターブ  
ケ21  
「突破思考セミナー」



## なぜ、一般社団法人障がい者才能開発支援協会を立ち上げようと思ったか。

私の娘が小学校 3 年生のときに発達障害と診断されました。その娘も成人して仕事もしているのですが、将来、親が死んでしまったあとに、一人で生活し生きていけるのか不安だったこともあり、親なきあと、支援を受けることができるネットワークを作りたいと思い、この一般社団法人障がい者才能開発支援協会を立ち上げました。

障がいを持っている人をサポートするのはもちろんですが、障がいを持つ子どものお母さんも、まわりから理解されず孤立して苦しんでいる人が多いので、お互いに支援し励まし合えるような場を作っていきたいと思いました。

親の会というのがありますが、それよりももっと専門家の知識や情報を提供できる場にしたいと思っています。たとえば障害年金などや、雇用に関する情報や、症状を改善する食事についての栄養など、様々な分野の専門家の方にも入ってもらいたいと思っています。

一般の人に向けて情報を発信し、発達障がいについて知ってもらうことで、職場でも受け入れてもらいやすくなればいいなと思っています。

日本理化学工業株式会社という会社があるのですが、この会社は障がい者雇用で有名なのですが、この会社が障がい者を多数雇用することを目指したのは、ある禅寺のお坊さんから「人間の究極の幸せは、1 つは愛されること、2 つ目はほめられるこ



### 岩田由美さんプロフィール

神奈川県出身。中央大学卒業。40 歳で社会保険労務士試験合格。

同時期に一人娘が発達障害との診断を受ける。娘の成長に伴い、親が自ら情報収集し、ネットワークを作ることが必要と実感。

「一般社団法人障がい者才能開発支援協会」を設立する。

障がい者の才能を開発し、就労の場を作るための支援活動を行っている。

趣味は美術館めぐり。

ブログ：

<http://ameblo.jp/shogai-sainou-sr/>

ホームページ：

<http://shogai-sainou.net/>  
<http://shogai-sainou.net/sr/>

## 一般社団法人障がい者才能開発支援協会の趣旨

仕事を通して成長するのは、障がい者も健常者も変わらない。成長する喜び、成長するのを見る喜びを、働く障がい者と支援者に感じてほしい。

- 「働きたい障がい者」と「障がい者を雇いたい事業主」とを繋ぎたい。
- 障がい者が就労を通して才能を開発し、社会に貢献するための支援をしたい。
- 「障がい者が働く」事を通して世の中をよくしたい。

そんな思いから、この協会を起ち上げました。

事業所見学、勉強会を通して、障がい者雇用の現場を知って下さい。

実際に障がい者の「業務サービス」を受けてみて下さい。

会員同士の交流会で、情報交換をしネットワークを作って下さい。



続き

と、3つ目は人の役に立つこと、4つ目は人に必要とされることの4つです。福祉施設で大事に面倒をみてもらうことが幸せではなく、働いて役に立つ会社こそが人間を幸せにするのです」と教わったからだそうです。

障がいがあってもこういうことをやっていけば学校にも行けるし、仕事もできる。イキイキと働いて、生活できるということを知ってほしいと思っています。

私も娘が判定されたときは「どうやって生きていくのかな」と不安になった。

だから、情報をドンドン発信して、同じ思いをしている人に伝えて、見せていきたいと思っています。

協会を作って、自分が代表を務めたことで、一人の親としてでは入っていけないところにも、行くことができ、話を聞いてもらえるようになった。

それでも、福祉関係者から「親が甘やかしている」というようなことを言われることがあるが、そういう現場の声も伝えていくことも大切だと思う。そうすることで、親の意識も変わっていくと思っています。

最近は、社会人になってから発達障害だとわかる人も増えていて、早い段階で気づいていれば対処できることもあるのではないかと思います。

その背景には、認めたくないという自分自身や家族の思いもあるのだと思います。

発達障害に対する理解が進んできていることもあり、療育手帳をもらっている人でも普通高校に行くことができる時代になった。そうすることが、本人にとって幸せなことなのかどうかはわからない。

障がい者ができる仕事は今は少ない。障がい者と言ってもいろいろあるので、たとえば、自閉症の人の場合は同じことを長く続ける仕事に向いているが、発達障害の人の場合は、ずっと同じ仕事をするのは難しい。障がい者雇用とひとくくりにするわけにはいかない。

才能開発支援というのは、仕事を通して成長し喜びを感じる。それは、障がい者だけではなく健常者も同じ。

だから、障がい者だけではなく一般の人にも知ってもらいたいと思っている。そして、いつ自分や家族が障がい者になってしまうかわからないから、関係ないと思わないで知ってほしいと思っています。

すべての人が仕事をして幸せに自立できる社会になるといいなと思っています。





# 活動報告

ニュースレターは発行していませんでしたが、イベントは定期的を開催していました。

おかげさまで、Facebookのページの「いいね」も560になりました。

イベントも、東京と大阪で開催し、開催回数は22回、参加者数はのべ215名となりました。

遠くから新幹線や飛行機に乗って参加してくださる方や、何度も参加してくださる方もいらっやって、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

参加してくださった方の感想もホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧になってください。



これまでも多くの方のインタビューや講演を通して、仕事に対する思いや、考え方をお伝えしてきました。

また、イベントでは講師の先生のお話をただ聞くだけではなく、ワークや対話を通じて、自分自身の思いや考えをアウトプットする場を提供してきました。

今後は、さらに土台でもある心や体の健康、仕事で役立つスキルや、思考などもお伝えしていく予定です。

入門だけではなく、一步踏み込んだり、ステージアップできるような、連続講座も作っていきたいと思っています。

そして、参加した人が、将来自分の仕事に誇りを持って、話をしてくれるような会になっていけばいいと思っています。

オリンピックが終わっても、日本の景気が後退することなく、伸び続けていくためにも、これからの社会を生きる人達が、元気に、イキイキと楽しく仕事をして、豊かに生きるそんな世の中になっていくように、微力ですがこれからも活動を続けていきます。

どうか、引き続きご支援、ご協力、ご参加よろしくお願いたします。

## 「楽しく働き、豊かに生きる人になろう！！」

働くことを考えようプロジェクトの活動コンセプトは「楽しく働き、豊かに生きる人になろう！！」です。自分が夢中になれる仕事に出会い、仕事が楽しくて仕方ない。そんな人が増えたら素敵ですよ。そして、さらに人生を豊かに生きるとは、自分の生活に満足しているということ。満足しているけど、さらに向上心がある人。

そんな人が増えると、社会はギスギスした感じがなくなり、自然と人と人とが助け合える社会になるんじゃないかなと思っています。

困っている人がいるときに、自然と手を差し伸べてあげることができるようになる。

そんな社会になるために、まずは楽しく働くことから始めてみませんか。

みんなで、楽しく働く人になろう！

小山 真由美